



人数や人流のデータ分析をする際に、こんなお困りありませんか？

1. 分析設計



施設内の人の動きが気になるが
どう分析したらいいかわからない

2. 取付



- ・カメラの活用はプライバシーの問題が気になる
- ・機器の設置にあたって、大規模な電気配線工事が発生してしまう

3. レポートニング



コストや手間に見合ったデータが
得られなかった

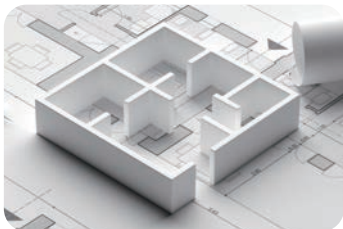
4. 改善



データを取得しても、どう空間改善
に活かしたらいいかわからない

**COCOSTAT は改善につながる
効果的かつ効率的なデータ分析を実現します**

POINT ① 空間改善につなげやすい分析設計



**空間デザイン会社だからこそわかる、
「次のアクション」を意識した分析が可能です。**

データ分析は取得だけではなく活用も課題になります。分析の次のアクションである改善に活かしやすい空間の活用状況フォーカスすることで、効果的な分析を実現します。

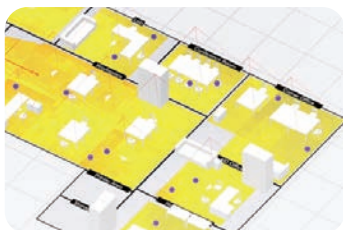
POINT ② 電気配線工事不要で容易な設置が可能



**大がかりな工事が発生しないため、
心理的・経済的なハードルを下げ、導入することが可能です。**

センサー本体は電池式のため電気配線工事は不要です。ベースプレートを天井面へビス止めでの取り付け、または天井面の仕様によってはマグネットを用いた直接の設置も可能です。

POINT ③ 個人を特定する情報を取得しない



**不特定多数の方が訪れる空間にも導入しやすく、
レイアウト検討や施設運営に活用できます。**

赤外線センサーを活用することで、人の動きや所在を体温で検知。
そのため施設の利用者、来訪者の個人を特定せず、プライバシーを保護しながら空間におけるデータ分析が可能です。

活用シーン

オフィス リニューアルや移転に向けたレイアウト検証に

執務スペースや会議室の利用状況を取得・分析することで、現状のオフィスの課題を特定し、改善に向けたレイアウト検討に活用することが可能です。



課題

会議室の予約が常時いっぱい、
利用したいときに利用できないという従業員の声が多い。

分析結果

会議室の収容人数に対して、
実際の利用は50%程度の人数で使われていることが非常に多かった。

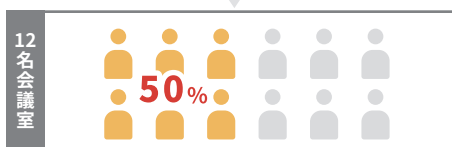
改善提案

会議室の面積自体は省スペース化し、
代わりに数を増やすことで対応。

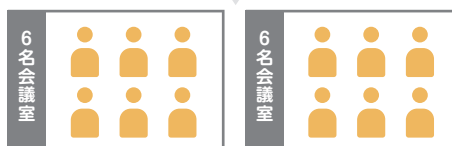
席を減らしてでも会議室増やすしかない？



実際の利用は半分の人数



利用状況にあわせて最適化



小売店 商品陳列の配置や導線の検討に

各エリアの滞在人数や時間、顧客動線のデータを取得・分析することで、什器レイアウトや棚割りを検討する際にご活用いただけます。



商業施設 マーケティング施策実施時のA/Bテストに

広告やプロモーション、掲示物やサインを変更した際、顧客動向の変化をデータとして取得・分析することで、より効果的な施設づくりに役立てることが出来ます。



butlr

COCOSTATは、米国Butlr Technologies（代表者：Honghao Deng、以下「Butlr社」）が持つ、赤外線センサーの製品・技術に、丹青社が持つ空間づくりのデザイン・設計ノウハウを活かし、データ取得から空間提案まで対応することを可能にしたサービスです。